

社会人基礎力

#12 規律性

～規律順守の具体例

規律性とは何か

規律性とは、社会のルールや人との約束を守る力のことをいいます

私たちは、子供の頃からこの「社会のルール」を学んで来ました

- ・横断歩道は、赤信号で渡ってはいけません
- ・バスのなかでは、大声で話してはいけません
- ・食べる前には『いただきます！』食べ終わったら『ごちそうさまでした！』
- ・お友達とは、仲良くしなければいけません

しかし、「社会人基礎力」でいう規律性とは、これらとは全く違った意識と行動です

社会人基礎力として求められる規律性とは何か

一言で言うと、「**会社を代表しているという心構え**」と言えます

みなさんが社会にいれば、社外の色々な人と出会います
営業職はもちろんのこと、総務部でも製造部でも同じです

そして、その人たちは、あなたの振る舞いを見て、

『ああ、この会社は、こういう会社なんだあ』という印象を持ちます

一人ひとりが会社の顔です

皆さんの行動や言動が、**会社のイメージや評価に直結する**ことを忘れてはいけません

日頃から自分の言動や行動が、会社の代表としてふさわしいかという意識を持って、
振る舞うことが大切です

規律性を発揮するためのポイント

(1) プライベートでの行動

規律性を判断する場合、プライベートに係わる行動を、どう扱うかという率直な疑問があります

たとえば、**人事評価**は、本来職務上発揮された成果や行動・能力を評価するものであって、プライベートまで含めて評価するものではありません

しかし、「会社を代表している」という視点からは、仕事を離れてもなお、「企業の一員としての責任」がついてきます

多くの会社が、「**会社の信用を著しく傷つけた場合**」、**何らかの処置を就業規則で定めている**のもそのためです

(2)時間の厳守

ビジネスの世界では、時間の厳守は当然です
むしろ、時間に遅れることは、取引の停止・信用低下など、
大きな問題を引き起こす原因になります

①たとえば、「納期の遅れ」

メーカーであれば、何時何分に部品が納品されるから、それに合わせて、
製造工程を組んでいます。

仮に、10分の遅れであっても、お取引先に多大な迷惑をかけることにな
りかねません

もし、時間に間に合いそうもない事態が生じたら、新人であれば
すぐに上司に報告し、その指示を仰ぐようにしましょう

②遅刻・欠勤

どんな理由であろうとも、遅れることが判った時点で上司に連絡を入れましょう

職場は、それぞれが役割を持って、チームで仕事をしています
遅れることは、その段取りを崩すことになります

それが、あなたのせいか、交通機関の事情かは関係ありません
遅れることが問題なのです

(3) 企業情報をむやみに口にしない

業務上で知りえた企業情報は、むやみに口にしてはいけません

深夜の居酒屋や終電などで、自社の悪口や**お取引先の情報**を大きな声でしゃべっている人をたまに見かけます

絶対にいけません

コンプライアンスに反する行為です

コンプライアンスとは、**法令順守**だけではなく、**モラル（倫理）**や**社会的規範**を含みます

業務上知りえた企業情報をむやみに口にすることは、**コンプライアンスに反する行動**です

(4) 身だしなみを整える

なぜ、身だしなみを整えることが必要なのでしょう

それは、**あなたが会社を代表しているから**です

あなたの身だしなみを見て、相手、たとえばお客様は、

『ああ、この会社は、こういう会社なんだあ』という**印象**を持ちます

では、**身だしなみの基準**は何か

①その身だしなみは、**会社の代表としてふさわしいか**

②その身だしなみは、**相手の信用・共感を得られるか**

この2点だと思います

(5) 5Sの徹底

5 Sとは、**整理・整頓・清掃・清潔・躰（習慣化）**のことをいいます

製造業の企業に入社したら、おそらく、新入社員研修で最初に学習する事柄です

5 S自体の効果は、職場の美化による働きやすい職場作りだけではなく、

- ・ **安全性の向上**や
- ・ **業務の効率化**などが挙げられます

すなわち、整理・整頓により、**職場の状況がよく見える**ようになり、**職場の異常を発見し、つまずいたり、倒れたりする事故を未然に防ぐ**ことができる（安全性の向上）からです

また、「あるべきモノがあるべきところにある」ことにより、**モノを探す時間が少なくなる**（業務の効率化）からです

セルフチェック・シート

規律性が「ある人」と「ない人」のモノの見方や考え方、行動特徴

	規律性のある人	規律性のない人
社会人としての規律性の理解	理解している	理解していない
会社の代表者としての意識	持っている	持っていない
プライベートでの行動	仕事を離れても、企業の一員としての責任意識がある	責任意識がない
遅刻・欠勤の重大性	理解している	理解していない
遅刻・欠勤の場合の対処	適切である	不適切
業務上知りえた情報について	外では口にしない	外で口にしてしまう
身だしなみ	会社の代表としてふさわしい相手の好感・信用を得られる	自分の好みにする
5 S の徹底	率先して5 Sに取り組む	5 Sを意識しない